



ICT CONFERENCE

デジタルシティズンシップ教育

Ishikawa

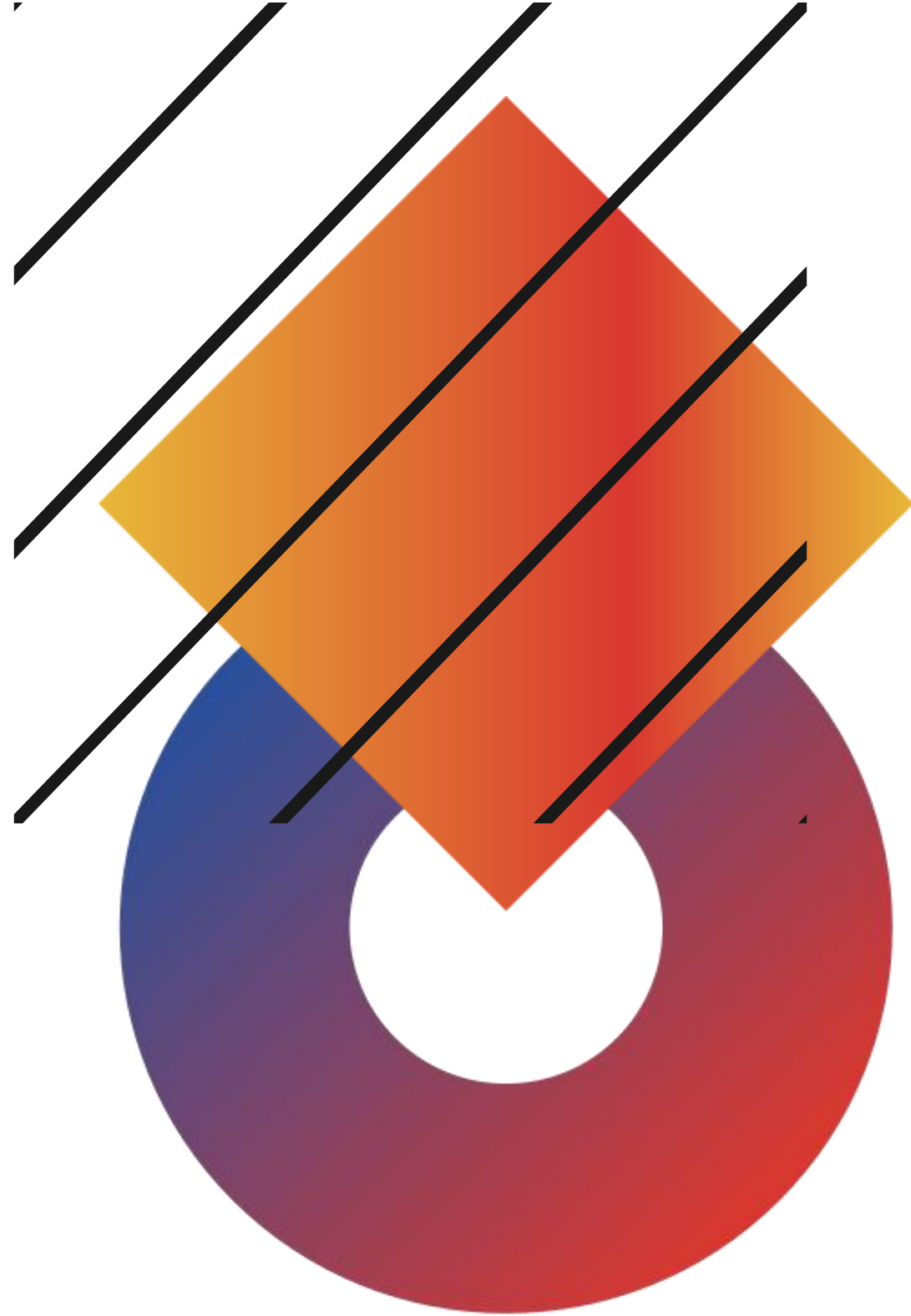
つくり手側/受け手側に

フェイクニュースが容易に生成
・増幅・拡散



「デジタルシティズンシップ教育」 **Digital Citizenship Education**

ネットでの振る舞いが
「自分自身」「周囲の人々」「世界」に
影響を与える責任のある一市民である



「実体験」
「自分ごと化」

keyword



suggestion

「学校現場」

体験の場を設けること

インプット/フェイクニュースの見分け方、信頼できる情報源

フェイクがどうやってできるのかの過程

アウトプット/劇で小学生に伝える、映像で伝える、ICT機器

学習指導要領導入は 教員の負担大

Program

コーディネーター機関×学校 デジタルシティズンシップ教育

Coordinating agency × School





すべての子どもたちに テクノロジーを通じた自己実現 が できる環境を提供する。

コンピュータクラブハウスは、子どもたちが「いつでも」「安全に」「テクノロジーに触れられる」コミュニティとして、世界20カ国100カ所に設置されています。国内第1号となるコンピュータクラブハウス加賀には、年間800名を超える子どもたちが、放課後や休日に訪れ、学校や家庭以外でテクノロジーに触れることのできる貴重な機会として利用されています。

コンピュータクラブハウスとは

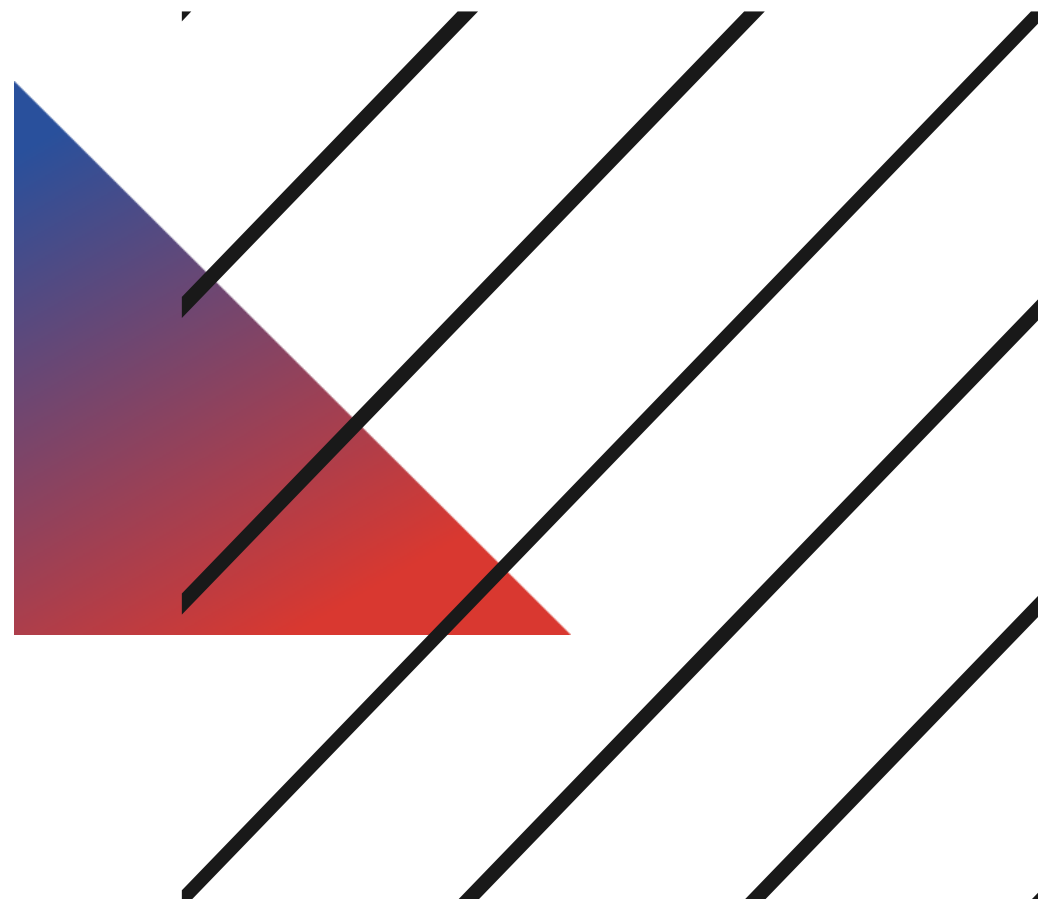
Scroll
↓

「デジタルシティズンシップ教育コーディネート機関」

リストアップ

私たちからの 政策提言

Make policy proposals



01 学校とコーディネート機関の
マッチング

02 47都道府県ごと
コーディネート機関設置

03 持続的なデジタルシティズンシップ
教育の体制の整備

04 コーディネート機関のリストアップ



Thank you!

ご静聴ありがとうございました！